

バスケットボール体験

ボールと友だちになるためにたくさんボールを触って練習をしました。ドリブル練習(右手、左手)、パス練習では、それぞれの役割や意味、体の使い方など、どのようにやるとうまくいくのか、細かく丁寧に指導してもらいました。

その後、シュート練習をして、チームに分かれてミニゲームを行いました。
バスケットはチームスポーツなので、ボールを触っていない児童は数を数えてあげたり、応援してあげるなど、チームプレーの基礎も教えてもらいました。
工夫を凝らした体験に児童は高田選手とともに楽しく汗を流していました。



服部冬聖さん

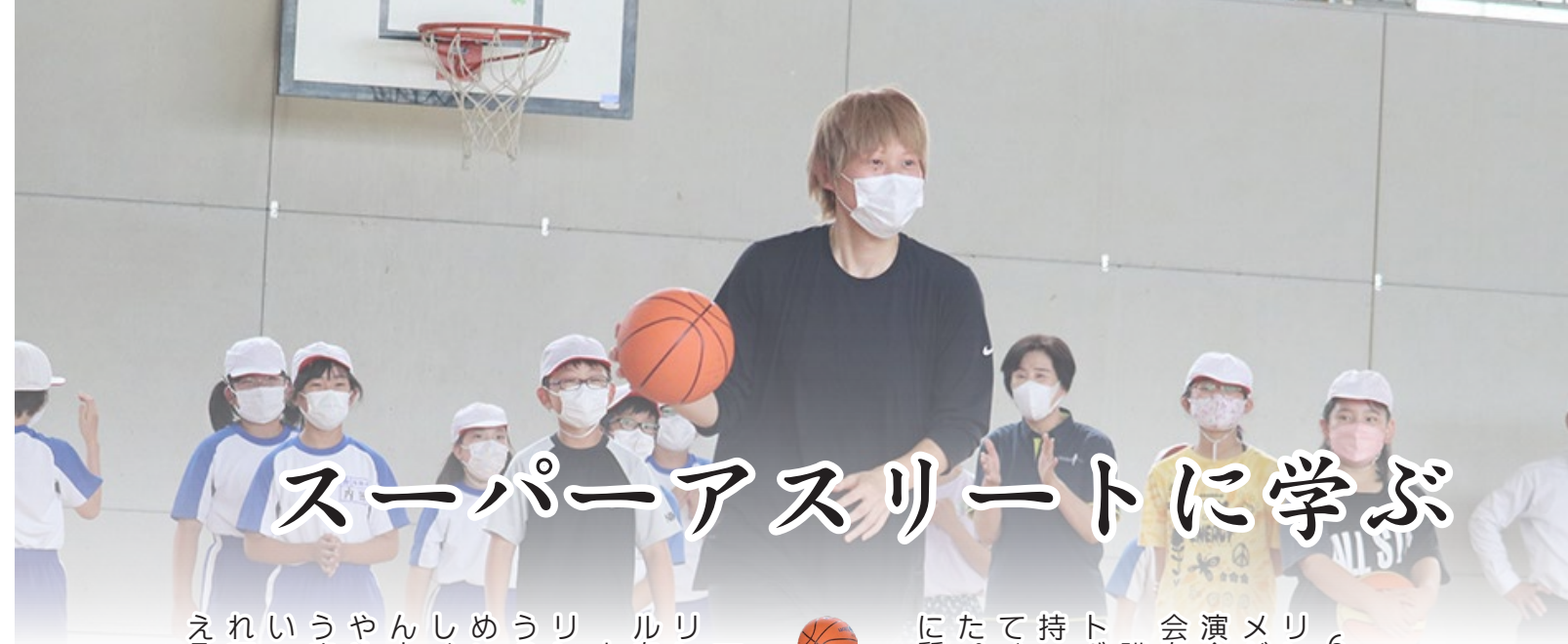
ドリブルとかは、授業でもやっていたので、初めてではなかったけど、今回教えてもらえて、とても楽しかったです。そしてちょっと上手になったかなって感じました。
最後にやったミニゲームでは負けてしまったけど、勝てるように一生懸命頑張りました。
バスケをもっとやりたいって思いました。

田口一颯さん

相手チームとどちらが早くゴールできるかを競うものがあって、それが、本格的だなと感じてとても楽しかった。
今は、野球をやっている、バスケはやっていないけど、今回やってみてバスケ楽しいなと思ったので、中学校に入ったら、バスケをやりたいなと思いました。



※幸手市の指定管理者の自主事業として
吉田小学校と協力して実施しました。



スーパーアスリートに学ぶ

講演会

6月20日(月) 吉田小学校に東京オリンピック女子バスケットボール銀メダリスト高田真希選手を迎え、講演会およびバスケットボールの体験会を行いました。

講演会では、高田選手がバスケットボールを通じて学んだことや夢を持って努力することの大切さについて、クイズを交えながら話をしました。質問コーナーでは児童は積極的に質問をしていました。

バスケットボールで一番うれしかったことは何ですか？

「うれしかったことはやっぱりオリンピックに出られたことと、メダルを取れたことです。
小学校でバスケットを始めて、オリンピックでメダルを取りたいというのが夢になり、それを達成するためにひとつひとつの目標をクリアし、努力を続けてきました。たくさん大変なことがあったし、たくさんやめたいなと思ったこともあった。うまくいっているときより、うまくいっていないときの方が長かった。それでもやり続けてきてよかったと思える瞬間でした。」

最初の目標はなんでしたか？

「最初はシュートを決めたいなという思いが強かったです。なのでひたすらシュート練習をしていました。」

目標は大きいものも大事ですが、小さい目標を一つずつクリアしていくことも大事です。

小さな目標でも、『今日はこれやろう！』とか『明日はこれをやろう！』と思いながら練習していくと、すごく充実した日々を送ることができて、最終的にはオリンピックに出られるまでになりました。」

うまくいかないときはどうやって乗り越えましたか？

「夢とか目標をもって頑張ってきたので、つらい時こそその夢を思い出しました。『自分はこうなりたいんだ。そのためには今何をしなければいけないんだ』って考えて練習しました。夢や目標があると、たとえその時うまくいってなくても夢に向かって頑張れます。」

失敗したときはどうやって切り替えますか？

「失敗することは誰にでもありま

す。そこで私は失敗を失敗と捉えず、経験として捉え、つぎにどうするかを考えて行動します。そうすると、うまく行く方法が見つかり上達していきます。」

みんなへメッセージ

「バスケットボールを初めてやった子もたくさんいたと思います。うまくできなくても不思議なことではなく、できなくて当たり前。少しずつ毎日やっていくことで成長していきます。これは、勉強など、なんでもそうです。できないことをやっていくからこそ成長できるし、できないことがあるからいろんなことを学ぶことができる。みんなも、これからうまくいかなきゃ、失敗もあると思うけど、とにかく毎日毎日、少しでもいいからやっていくことで、きっと何でも上手くなる。いろんなことに興味を持って挑戦してみてください。」

